

洗礼者ヨハネはサンタクロースではなかった。二人ともベルトをして奇妙な服を着ているのだが、お互いに違う目的を持っている。

サンタの存在は、サンタのように、愛する人々にたくさんの贈り物、楽しさ、喜びを与えるようなクリスマスを迎えたい。降臨節に入ったのだが、洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の許しを得させるために悔い改めの洗礼を叫んでいる。(本日の福音書マルコ1:4)

人々はなぜ、奇妙な服を着、イナゴと野蜜を食べるこの男を見に行っただのか？

私たちはなぜ、この時代、彼に耳を傾けるのか？

ヨハネは予言者であった。ヨハネはラクダの毛衣もういを着て、腰に皮の帯を締めていた。

降臨節のカレンダーもなく質素な食物で暮らしていたが、神への目的と働きで満ちていた。

ヨハネは主の道を整えていたが、クリスマスの輝きの外で生きていた。

しかしながら、ヨハネは誰よりも明確に神を見ることができた。

ヨハネは人々の注目を得ていた。私たちの目には野蛮な男として映り、聞く必要のない奇妙なことを叫んでいる。すべての予言者は神を代弁しており、ヨハネもその違いはない。

神は荒々しく、なじみにくい。神を閉じ込めることはできない。

箱に入れ、きれいなリボンでくるむのとは違うのだ。

私たちは、神に耳を傾けなければならない。そして準備して待つのだ。

ちょうど今、私たちはすべてのことで待たなければならないように思える。

私たちはワクチンを待ち望み、食料品店で待ち並ばなければならない。

人々は失業者の列に、フードバンクに、2mの間隔を取って待っている。

子供の頃、降臨節の期間はわくわくして待っていた。大人は待つのが好きではない。

そして待つことは悪魔化されており、何でもすぐに手に入る。なぜ待つのだ？

展示されているすべての商品を待つことはない、クリックするとすぐ配送される。

待つことは雑用と見なされ、私たちの文化では時間の浪費である。

しかしながら待つことは、好機があふれていることなのだ。

これが降臨節であり、待ち望み、準備をする時間なのだ。

降臨節は、私たち自身がいつときも神を受け入れる準備期間である。

世界に伝えられた最大の物語、私たちが深く愛してくださる神の存在を祝う。

主は人の姿をしてこの世にこられたので、主を見ることができた。

人としての主イエス、インマヌエル(神は私たちとともにおられる)と知られている。

私たちが深く愛して下さる神は、私たちが慰め、相談員や道案内人となるため、聖霊を送って下さった。神はいつも私たちに悔い改めを呼び掛けておられる。

それは、私たちが向きを変え、神に帰り、罪を告白する呼び掛けである。

私たちの過ちを、私は価値ある者ではないと悲しい声を聞くことではない。
神のみ前に捧げたもの、神との絆^{きずな}を放置することを言っているのだ。
ある時はこれらのこと（罪の告白、悔い改め）を行ったり、行わなかったことがあった。
（実行せず）胸につかえているなら、取り除く必要がある。
大齋節（荒野のキリストを記念する46日間）のように、多くのキリスト者は降臨節に
おいても、心の準備として告白する。私たちの罪がどのようなものであるかをいかに理解
しても、罪は私たちを神から遠ざける要因である。

今年は新型コロナのクリスマスに向かっている。神は私たちの中心に臨在される。
人生のどんな時にも臨在され、私たちを見守られており、「わたしは民を慰めよう」と
述べられている。私たちの心の中に誕生された幼子イエスのため、再び準備をするのだ。
そしてこの静かな^{おのれの}荒野で時を過ごし、忍耐を学んでいるのだ。神は魔法ではない。
季節が移るのを待つように、私たちは神を待たなければならない。
神が私たちの心に植えて下さったことを、神に育てていただく。

この待っている時間を、主へ続く道と粗野な居場所の修復に使おう。そして私たちの人生
に立ちふさがっている神との障害を取り除き、なめらかな居場所にしよう。
これらの罪（神とのよい絆に対する重大な障害物）を取り除く時にのみ、私たちは急進的
で荒々しい神の恵みを受け取ることができる。

この方法で準備するなら、神と共に高い山により登りやすくなる。
神を見て、叫ぶ。ここに私たちの神がおられる！ 現在の高い山はCovid 19である。
もしこの待っている時間を私たちの心の準備に使うなら、神が私たちに求められている
ことに、用意をする自分自身に気が付くであろう。そして立派に行うのだ。
どのようなことでも準備をする時は、急いでするとより良いものにならない。
この降臨節に、普段のやり方ですべてのクリスマス準備をしようとしているなら、
一日一日を立ち止まってみよう。そして神の存在を息で深く吸い込むのだ。
私たちが呼ばれる神の声を聞いてみよう。そしていかなる時も、イエスを受け入れよう。

快活なサンタクロースと違って、ヨハネとイザヤは予言者であった。
予言者は反文化的である、なぜなら人々が聞きたくない世界の何かを語るのだ。
彼らは世の外から発信する。なぜなら私たちが見過ごしている真実を明確に見ることが
できる。この降臨節に、私たちの回りにある真実を、神が明らかにされるように祈ろう。
神がクリスマスに用意をされていることがあり、キリストの民として、その準備をさせて
いただくために、私たちは前に進み出て、声を上げよう、さらに大きく。アーメン。

（文責長澤猛）